



宮城おおさき移住支援センター

NEWS LETTER

おおさき暮らしを
始めた方の
今を伝える

VOL.04
JAN, 2026



岩出山地域づくり委員会主催 「空き家対策ワークショップ」に参加 しました！



2025年11月16日（日）、岩出山地域づくり委員会が開催した「空き家対策ワークショップ」に参加しました。

当日は、一級建築士・渋谷 大輔氏のレクチャーを交え、実際の空き家のビフォー・アフター事例を知ることができました。現場ならではの視点や具体的な課題に触れ、空き家活用への理解がより深まる内容でした。

大崎市空き家バンク
空き家登録募集中

空き家は時間が経つにつれて老朽化が進み、管理が難しくなります。遅れになる前にぜひ対策を講じましょう。大崎市空き家バンクでは、市内の空き家物件の登録を募集しています。空き家の売却や賃貸をお考えの方はぜひ一度、宮城おおさき移住支援センターCU:RUSまでご相談ください。

宮城おおさき移住支援センター CU:RUS(くーらす)の役割

宮城おおさき移住支援センターCU:RUS(くーらす)は、宮城県大崎市への移住をサポートする窓口です。移住に関するご相談を隨時受け付けています。



●移住前・移住後のサポート

住まい探しや支援策の紹介、地域情報の提供などあらゆるサポートをしています。移住後のお困りごともお気軽にご相談ください。

●移住体験会の開催

大崎市の暮らしや雰囲気・環境などを知ることができます。企画型（まち歩き・空き家見学等）とオーダーメイド型で“おおさき暮らし”を体験しましょう。

●いろいろな相談方法があります

電話・メール・LINE・対面・オンラインで受付中！





八坂神社

宮司

みやの ともり

宮野 朝則さん

宮城県大崎市三本木出身

2012年に三本木地域にリターン

國學院大學で神職の資格を取得。その後は東京や千葉の神社で経験を積み、2012年、地元・三本木に戻ってきました。

現在は、1534年に創建され、約500年続く八坂神社の24代目宮司を務めています。



神社とのつながりを次世代へ

宮城県大崎市三本木地域出身の宮野朝則さんは、神社を継ぐための学びを深めようと県内の大学を卒業後、上京しました。関東の神社で経験を積んでいる中で、東日本大震災が発生。故郷の状況が気がかりだったこともあり、地元三本木で自分にできることを考えた宮野さんは震災の翌年に大崎市へリターンする決意を固めました。

都会での暮らしを経て戻った故郷では、生まれ育った三本木の自然や人々の温かさ、そしてゆったりと流れる時間の心地よさを改めて感じていると言います。その一方で、新しい家を建てる際に地鎮祭を省いたり、神棚を設けない家庭が増えたりするなど、神社とのつながりが薄れつつある現状に危機感を抱いているそうです。

そんな折に声をかけられたのが、三本木地域に住む責任世代が立ち上げたまちづくり団体の「三本木未来会議」でした。宮野さんもこの三本木未来会議にメンバーとして加わり、子どもたちや地域の人たちが神社に親しめるきっかけづくりを模索しています。2024年11月の秋祭りではマルシェとの同時開催が実現し、200~300人が訪れるにぎやかなイベントになりました。

地域のにぎわいを生む新たな役割へ

宮野さんが目標のひとつとして大切にしているのが、2034年に迎える八坂神社の創建500年です。この大きな節目に向けて「三本木だからこそできること」に取り組み、1回のイベントで終わるのではなく、長く続けていける活動を形にしていきたいと考えています。

神社を地域のにぎわいの中心にし、地元の人はもちろん、外から訪れる人とも交流を深めていきたい。そんな思いを込めて宮野さんは「伝統を守りながら、時代に合わせて新しいスタイルをつくっていくことが大切」と話してくれました。

八坂神社
Instagram

主祭神は素戔鳴尊（スサノオノミコト）。例祭日は4月15日（現在は直前の日曜日）と11月3日の2回。
1月には初詣やどんど祭が行われる。



発行：宮城おおさき移住支援センターCU:RUS（くーらす）

運営:NPO法人おおさき地域創造研究会（大崎市業務受託団体）

宮城県大崎市古川米倉字屋敷42-1 9:00~17:00 土日祝休

電話 0229-25-4493

E-mail info@osaki-ijyu-support.jp

CU:RUS
ひろがり、ひらく、おおさき暮らし

